

八女杉製土木資材の利用拡大

ガードレール、遮音壁等試作品展示

福岡県の土木用地域材需要拡大協

福岡県の産官学で組織する「土木用地域材需要拡大協議会」はこのほど、保存処理された八女杉によるガードレール、遮音壁、フェンスなどの試作品展示場を開設した。同協議会は、昨年から商品開発や現場施工等に関する協議と、先進地視察を重ねてきた。公共建築物等木材利用促進法の本格運用が開まるなか、全国的にみても土木資材に的を絞って地域材需要拡大を目指す動きは珍しい。今後は素材生産から製材、加工に至る供給体制を整え、土木用資材での木材利用を各方面に働きかけていく。

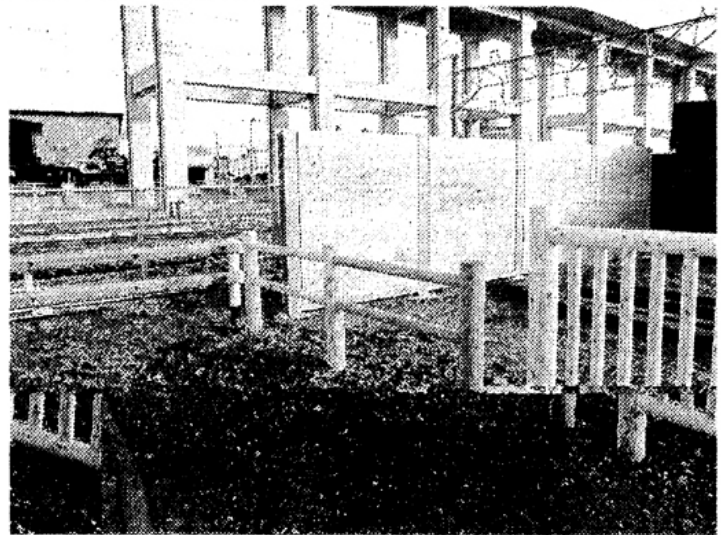
同協議会は、林野庁 組合、県及び各研究機関の助成による全国木材 関、八女市、福岡大学 協同組合連合会の「国 工学部社会デザイン工 産材資材等供給連携支 援事業」に採択されて 立ち上げられた。構成 員は、八女木材協同組 合、八女森林組合、八 女林産協同組合、九州 木材工業、土木業関連

組合、県及び各研究機 末までに5回の協議会 を行い（最終回には森 林総合研究所・桃原郁 夫氏の講演も実施）、 2月には土木資材の木 材利用で先進的な取り 組みを進めている秋田 県を視察した。

会長には渡辺福哉八 女木協理事長が就き、 昨年10月から今年2月

これらの成果を踏ま え、このほど九州木材

同協議会が試作したガードレールなどの 展示場（九州木材工業本社敷地内）



工業本社（筑後市）敷 地内に八女杉による角 県の産官学で開発した

型ガードレ ール、遮音 壁、フェン ス等の試作 品展示場を 開設すると ともに、こ れにグレー チング（側 溝用のふ た）等を含 めたカタロ グも作成し た。試作品 は一般的な 保存処理 エコアコルウッドの 2種類。今後は遮音壁 の鉄道線路に対する騒 音データ収集や、利用 者側の意見を反映した 改良等を進めていく考 えだ。「カタログや試 作品を作ったが、これ は始まり。素材生産、 製材、加工の各メンバ ー企業が今後、具体的 な供給体制を構築でき るかが鍵だ。それさえ できれば、土木資材分 野での木材利用を広げ ていくことは十分に可 能だと思う」（同協議 会）。